

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70171
事業名	アイヌ文化交流センターリフレッシュ事業費					
評価担当課	所 属	市)市民生活部 アイヌ施策課			電話番号	211-2399
施策名	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	(現在の状況)2003年の開館以降、アイヌ施策の拠点として、アイヌ民族の生活や歴史、文化などを楽しみながら学ぶことのできる取組を実施している。 (新たな課題や社会的ニーズ)2019年5月にアイヌ施策推進法が施行され、アイヌ政策推進交付金が創設されるなど、アイヌ施策を推進していくための環境に変化が生じているほか、2020年に白老町に民族共生象徴空間ウポボイがオープンし、アイヌ民族やアイヌ文化に対する関心が高まっている。一方で、アイヌ文化交流センターにおいては、展示機器のうち一部は開館当初のシステムを使用しており、老朽化していることから更新が必要である。また、開館以降、間伐等を実施できておらず、過密林や下層植物の成長不良等の影響が出ているため、庭園を整備する必要がある。
	事業内容（何を実施し）	①食文化発信:アイヌ文化交流センターの中庭にアイヌゆかりの植物を定植するとともに、アイヌ料理のレシピ・動画を公開、②記念撮影コーナー維持管理:民族衣装を着用し、撮影できるコーナーを運営。294日実施・4, 334人来場、③アイヌ文化体験コーナー設置運営:刺しゅうや木彫り体験ができるコーナーを運営。294日実施・3, 761人参加、④展示物追加・修繕:脱穀精米機や着物・小刀等の展示物の修繕、追加制作を実施、⑤展示物ガイドアプリ運用:スマートフォンアプリにより、多言語対応した展示物解説文を公開、⑥屋外展示の更新:子熊の檻を建替、⑦アイヌ文化紹介システム更新:老朽化したアイヌ文化紹介システムを更新。内容を刷新した。
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現
	他都市の状況	2020年7月に白老町にウポボイがオープン。同施設において古式舞踊の披露や各種講座の開催をはじめとして、来館者がアイヌ文化に触れられる取組がなされている。 また、苫小牧市などの市町村において、アイヌ政策推進交付金を活用し、老朽化した展示物や設備を更新するなど、誘客促進に向けた多用な取組が行われている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	38,000 千円	うち特定財源	30,400 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	25,072 千円	うち特定財源	23,317 千円	正規職員業務量	1.3 人工
令和6年度予算額	54,000 千円	うち特定財源	45,200 千円	正規職員業務量	1.3 人工

指標	アウトプット活動指標1					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標1	アイヌ文化交流センター入館者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		28458	40000	41091	45000	50000	65000
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	修学旅行等の団体客など一部に鈍さはありつつも、新型コロナウイルス感染症による客足の落ち込みからは回復傾向にある。引き続き、各種事業を実施しアイヌ文化交流センターの魅力向上等に取り組むことで、最終目標達成を目指す。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	各種事業によりアイヌ文化交流センターの魅力向上、誘客促進に努めるとともに、送迎バスを運行し交通アクセスの改善に取り組む。ただし、送迎バスについては、適宜効果測定を実施の上、需要の低い時間帯を減便する等、実施手法を検討していく。